

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計		事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名		幼児教育充実事業		事業番号	
担当部署名		教育委員会事務 局		能力開発・教育課程 課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れ目のない子育て支援の充実
		寄与するKPI	有	取組の方向性	②多様で質の高い教育・保育サービスの提供		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画	■堺市教育大綱、第3期末未来をつくる堺教育プラン、堺市幼児教育基本方針、堺市子ども・子育て総合プラン				
3	事業開始年度	平成 10 年度	点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■教育基本法 学校教育法				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■出先機関・本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■市立幼稚園・小学校、市内の就学前教育・保育施設			対象数	単位
					270	施設
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■公民園種を超えた市全体の幼児教育の質の向上及び小学校教育との円滑な接続				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<ul style="list-style-type: none"> ■保育者の資質向上に向けた研修や施設に対する助言・相談業務、幼児教育センター機能の充実 ■円滑な幼小接続のための研修や交流活動等の実施 ■要配慮児への指導に関する専門家等の派遣や研修等の実施 ■公立幼稚園の園運営及び研究実践に係る支援 				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	堺市私立幼稚園連合会				
10	公民連携・協働事業	-				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標	点検年度
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度	
	スタートカリキュラムを編成・実施後に、評価改善を行っている小学校の割合	%	50	40	50	100	
			15	46			
	当該指標を選定した理由	円滑な幼小接続に寄与するため					
	目標値の設定根拠・算出方法	令和3年度：50%の学校で実施 令和7年度：全校での実施					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
			令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	幼保小合同研修会の延べ参加人数	人	390	390	390		
			0	341			
	当該指標を選定した理由	小学校と幼児教育・保育施設の職員が交流することで相互理解できる機会となり、スタートカリキュラム等について理解が深まるため					
	目標値の設定根拠・算出方法	開催数（対象：260学校園）と実績をもとに算出					

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	幼児教育充実事業	事業番号	038-041
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	9,814	7,325	11,296	9,427	11,225
13 財源内訳					
国支出金	282	759	912	658	950
府支出金					0
市債					0
その他 ()					0
受益者負担金(使用料、手数料等)					0
一般財源	9,532	6,566	10,384	8,769	10,275
14 人件費 (b)	11,340	11,540	16,720	16,720	16,720
15 年間経費(c)=(a)+(b)	21,154	18,865	28,016	26,147	27,945

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費		項目	年度	事業費		
		うち一般財源	うち一般財源			うち一般財源	うち一般財源	
16 事業費内訳	R3 決算	5,425	5,425	保育補助員 報酬等	R3	決算	22	22
					R4	予算	23	23
	R3 決算	1,194	597	通信運搬費	R3	決算	150	150
					R4	予算	0	0
	R3 決算	290	290	就学支援情報HP掲載委託料	R3	決算	29	14
					R4	予算	287	265
	R3 決算	0	0	使用料(会場・バス)	R3	決算	1,424	1,424
					R4	予算	1,500	1,500
	R3 決算	893	847	補助金(幼児教育振興事業等)	R3	決算		
					R4	予算		
	R3 決算	893	847	自然環境づくり謝礼金	R3	決算		
					R4	予算		
R3 決算	893	847	旅費	R3	決算			
				R4	予算			
R3 決算	893	847	消耗品費(研究実践支援含む)	R3	決算			
				R4	予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
		千円	千円
① 幼保小合同研修会の延べ参加人数	人	0	341
② 上記①にかかる年間経費	千円	0	2,910
③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位		8,534
備考(算出についての説明等) 人件費、講師謝礼金、会場使用料をもとに算出 ※令和2年度はコロナ禍のため開催を中止			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>■ 幼保小合同研修会を2回から3回へと拡大。公民ともに多数参加し、開催中止(感染症拡大のため)でも資料提供を行い、講師招聘回数を吟味するなど、必要最低限の費用で円滑な幼小接続に向けた取組を推進している。</p>
----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

KPI等への寄与(基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>■ コロナ禍においても、人数を制限しながら専門家の講義を直接聞ける研修やオンラインでの研修の機会を保障し、園内研修支援や特別教育に係る専門家派遣等、各施設の個別の課題に応じた支援を実施した。また、研修実践園における公開保育を開催し、市内の幼児教育・保育施設の質の向上に寄与した。</p>
----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------